

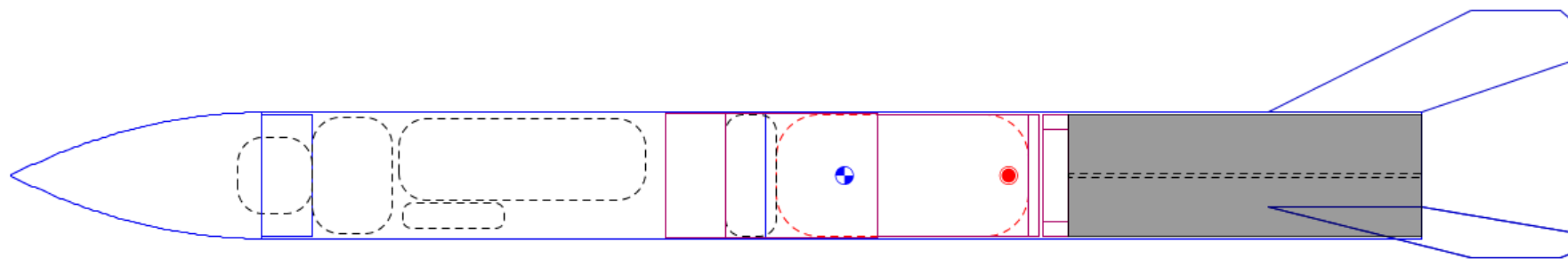
NAFT Rocket Development



1. モデルロケットの製作
2. CanSatの製作

1. モデルロケット

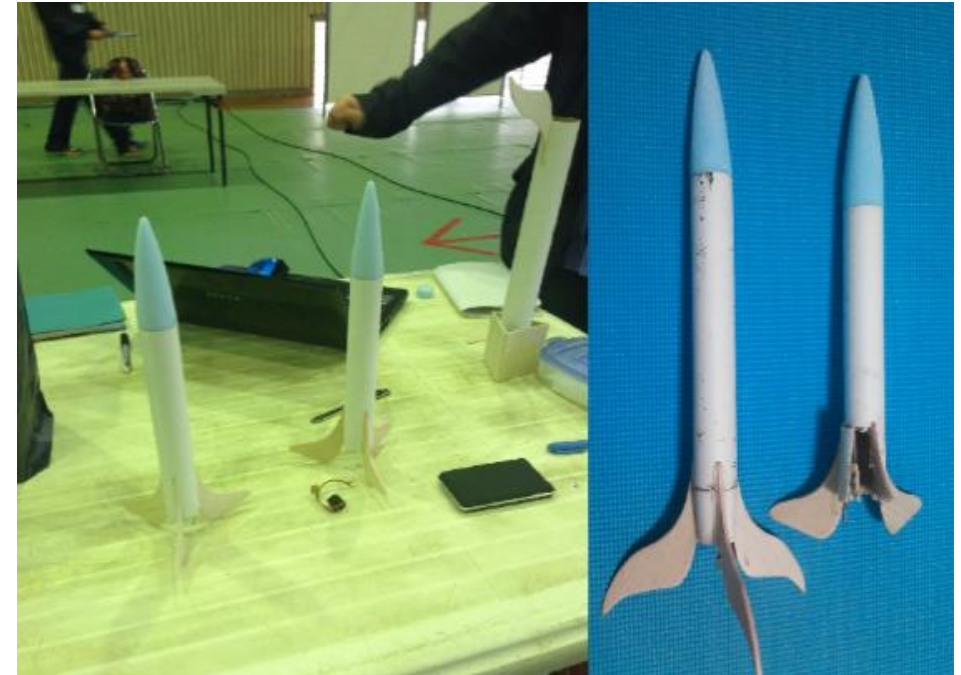
ハイブリッドロケットの製作を目指し、活動・活動の一環として、種子島ロケットコンテストの高度部門での上位優勝を目指した活動を行った。



準優勝

獲得高度341 m

本プロジェクトで得たロケット
そのものの知識だけでなく、
開発中に使用した流体解析ソ
フトや3DCAD等の経験を今後
のハイブリッドロケットの開発
に活かしていけると期待でき
る。



2. CanSat班

CanSat班は将来的にハイブリッドロケットへの搭載を目標としたパラシュート開放機構の開発とのパラシュートの研究および開発を行った。

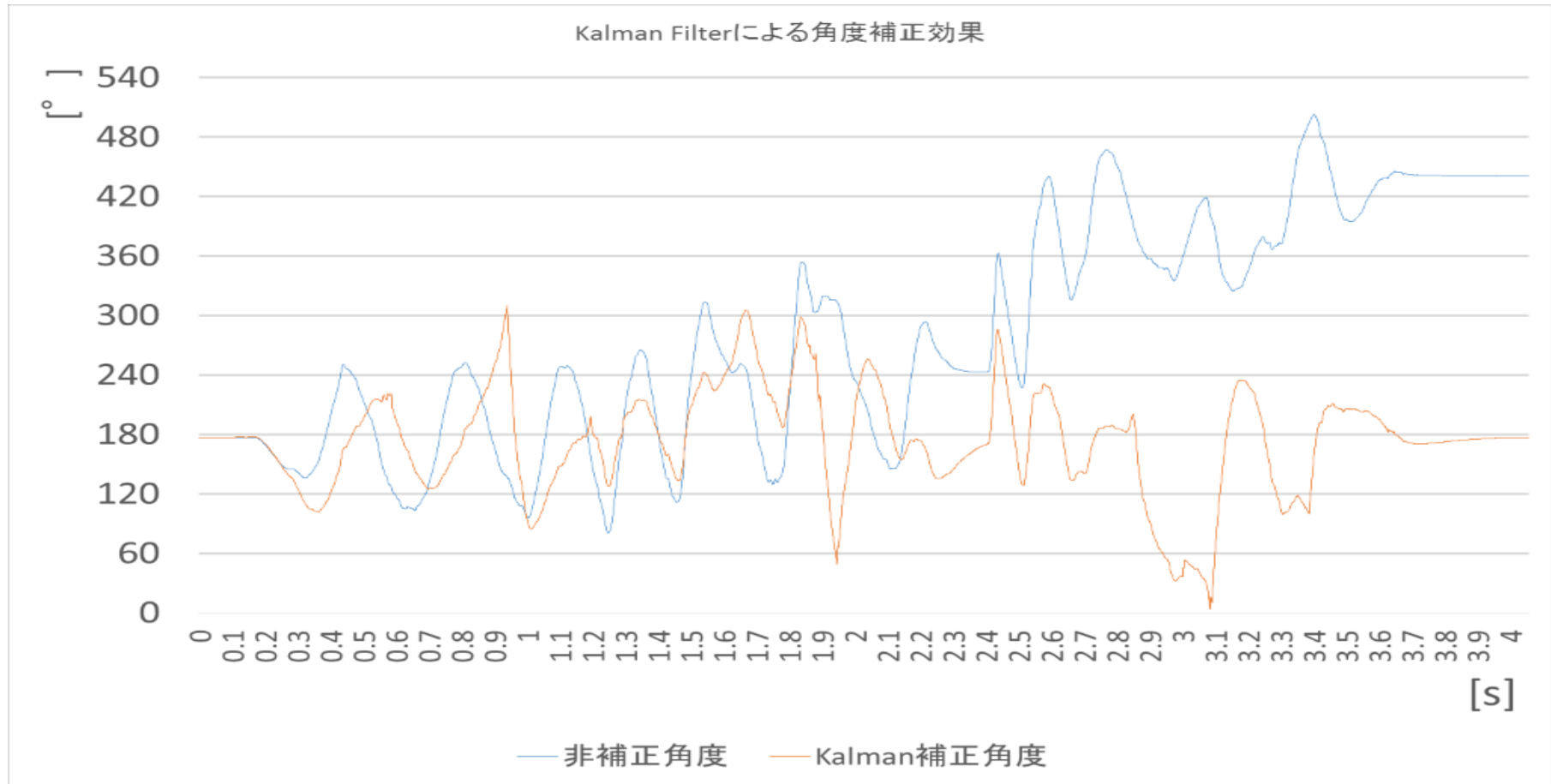
ペットボトルロケット内部に電子機器を搭載し、パラシュートを展開させ、安全に機体を回収することを目指した。

●加速度計などの電子デバイスの搭載

これに関しては、NAFT のこれまで開発してきたものを転用した。

●制御機器

姿勢制御により、着地時衝撃を理想的なものにできるだけなく位置情報などの誤差が小さくなると考えられている。姿勢制御に関しては NAFT に前例がないので、一からやっていくことにする



速度におけるドリフト現象への対策が課題